

## 令和 6 年度 第 8 回 生産管理WG 議事要旨

I.日 時：2025(R7)年 1月17 日(金) 13:00～14:30

II.場 所：(一社)日本木造住宅産業協会 6階会議室+オンライン(ZOOM)開催

III.出席者：(敬称略、順不同、※印は ZOOM 参加)：下線は欠席

リーダー：未定

主 査：秋山(東洋大学名誉教授)

メンバー：秋本(住友林業株)、杉山(ポラテック株)、※内山(株エー・エス・ディ)、鎌田(株アールシーア)、  
 ※工藤(近藤建設株)、※折笠(株エー・エス・ディ)、佐々木(株LIXIL)、清田(株エヌ・シー・エヌ)、  
氏居(進建設株)、小川(株細田工務店)、原口(住友林業株)、後上(株カナイ)、  
小山(株ユニバーサルホーム)、丹治(株ナイス)、今倉(ジャパホームシールド株)、

オブザーバー：※浜本(福井コンピュータアーキテクト株)、小山(株アンドパッド)、高島(株アンドパッド)

事務局：鈴木、松澤

(出席者 8 名)

## 【報告・議事事項】

1. 前回議事録の確認 (資料1)

読み上げ、修正なし

2. 生産技術委員会 YouTube コンテンツ 12.31 (資料2)

・11/末よりは、視聴回数減っている。

但し、前年の 12 月時は、各回、1 桁だったので、それよりは、増えている。

今後も推移を視ていく

3. 川崎総合科学高等学校へのヒヤリング関連について

(秋本委員長)

・1 月 14 日(火)に秋山先生・内山委員・杉山委員・事務局と計 5 名で訪問いたしました。

・1 学年 40 名ぐらい(建築と土木両方で)建築大工は、卒業時、3名ぐらい

(秋山先生)

・木住協として、何がお手伝できるか(静岡や千葉でやったような実物大講習)

・授業時間で、我々と物創りに関わる時間をとるといのは、ちょっと難しいのではないかな

・何ができるか、高校側と打ち合わせしていく必要がある

・先方の、先生方は非常に好意的

・高校の先生は、勝手にプログラムを変えられない

(内山委員)

- ・やる時間・方法を大別すると
  - ① 課外研究（卒業研究）
  - ② 建設ランド(文化祭的なもの) ジェットコースターやメリーゴーランドを造ったこともある
  - ③ 部活動的なもの → 人数が限られる
- ・行うなら、①か②
- ・大切なのは、木住協として「何ができるか」を提示

(杉山委員)

- ・建設ランド(文化祭)は、より多くの方に見ていたけるというメリットもあるが、基本的に生徒さん達が、やる内容を決めるので、どこまで落とし込めるかが重要

(秋本委員長)

- ・木住協側として何が提案できるのか検討
- ・現実的にできる内容を選択、提案していかなければならない。

(秋山先生)

- ・住林、ポラス等の現場で実際やっている姿を見せる
- ・「同世代の意識を持って学んでいる姿を見せる」ということは、刺激もあり効果的、大切な事である

(内山委員)

- ・現場を見てもらうというのが一番良い。

(秋山先生)

- ・作業している所、先輩の大工が教えている所等
- ・「なぜ、訓練校・大工を目指したか」等、質疑応答もいいのでは。
- ・生産 WG のメンバーもいっしょに見てもらう、参加してもらう。

(工藤委員)

- ・弊社の場合は、1 年目から、現場に出す。就職活動をお願いしている学校には現場を見てもらう等、お願い。又技能検定実習の様子を見てもらう等、実施。

(秋山先生)

- ・提案としては、毎年、建災防で行う安全講習＋建設施設見学の際に教育施設見学、その先生方との懇談等、取り入れると効果的だと思います

(秋山先生)

【木造建築を支える生産者社会の再構築：木の職人を育てる学校】について

・日本建築専門学校、中野工務店、東京建築カレッジ、富山職藝学院、住友林業  
森林たくみ塾、ICCA、東京工学院高校、長谷工、INAX 等々、  
御紹介いただいた。

(秋本委員長)

- ・訓練校視察、分譲地視察に関しては、高校側のカリキュラム等調べて展開
- ・川崎総合科学高校側と、連絡を取り合い、検討していく

【次回 令和6年度 第9回生産管理WG】

令和 7年 2月 14日(金)13:00～14:30 木住協 6階会議室+ZOOM